



第5章 施策展開の方向性





With Sports 暮らしの中にスポーツを

1.1 生涯スポーツ活動の推進

従前計画の「市民ひとり1スポーツの推進」方針を継承するとともに、市民の日常生活にさらにスポーツを浸透させるため、以下の考え方に沿った施策を展開する。

- スポーツ非実施層や低頻度実施層への働きかけなどによってスポーツの実施率の向上を図る。
- 世代別やスポーツに取り組む目的別など、対象層を明確にするなどの工夫により、スポーツ実施の質（実施頻度や内容）の向上を図る施策を効果的に推進する。

また、アーバンスポーツなどの新しいスポーツの動向を見据え、多様なスポーツの楽しみ方を市民に発信し、市民とスポーツの関係をより豊かなものとしていく。

【基本施策】

(1) スポーツ情報の発信

- デジタルメディアを活用したスポーツ広報の充実
- 生活の多様な接点でのスポーツ情報提供
- 本市スポーツ施策に対する理解、共感促進のための広報展開
- 健康増進の観点からのスポーツの重要性の発信

(2) スポーツ教室の開催

- 既存の市民向け教室の充実、より効果的な実施方法の検討
- 香陵アリーナを拠点としたスポーツ教室、講座の継続開催
- 市民の暮らしに近い多様な場でのスポーツ体験機会の提供
- 各地域での開催、短期講座の開催など、より多くの市民が参加しやすい教室・講座の開催



(3) 多様なスポーツの楽しみ方の啓発・普及

- 市民の継続的なスポーツ活動のきっかけづくり
- ニュースポーツ、アーバンスポーツなど、新しいスポーツの動向把握、普及啓発
- 健康視点からのスポーツ促進（健康づくりや関連事業者、研究機関との連携など）
- 民間のスポーツ資源（スポーツクラブ、ショップ、企業の保有施設、人材など）の活用、連携



1.2 競技スポーツ活動の推進

多くの競技団体において、会員の高齢化や少子化に伴う会員減少の問題が顕在化する中、市民が仲間とともに、楽しく競技スポーツに取り組めるための支援を行う。また、記録向上や大会でのより上位の成績を目指して日々、研鑽を積んでいる市民やチームに対してその活動を支援し、全国、さらには国際レベルで活躍する本市ゆかりの選手の輩出を目指す。

【基本施策】

(1) 競技スポーツ活動の支援

- スポーツ振興に顕著な功績のあったものへのスポーツ賞の授与
- 各種競技における全国大会などに出場する個人、団体に対して賞賜金交付

(2) 競技スポーツ団体の支援と連携

- スポーツ協会等と連携した競技スポーツ大会の開催
- 各種競技団体の活動支援



1.3 スポーツ活動を支える人材の育成

様々なスポーツ活動を支える人材の確保と指導者の資質の向上は、「With Sports City 沼津」を形成するために不可欠の要素である。このため、質の高い指導が受けられる環境の整備やスポーツ活動を様々な面で支えるスポーツボランティア育成や活用に取り組む。

【基本施策】

(1) 質の高いスポーツ指導環境の整備

- 指導者研修の役割や内容の見直し、指導者への情報提供
- 「スポーツ指導者バンク」による市民や地域団体のニーズと指導人材のマッチング
- 幼児スポーツ、障がい者スポーツ指導員など分野別専門指導者の育成

(2) スポーツボランティアの育成と活躍の場の創出

- ふじのくにスポーツボランティア（静岡県）との連携
- 市民が多様な形でスポーツ活動を支える場や機会の開発



▲指導者研修会



1.4 スポーツを楽しむ場の充実

市内の公共スポーツ施設の多くは老朽化が進んでいることから、公共施設マネジメント計画を踏まえ、適正な施設の整備、維持管理に取り組む。また、官民連携によるスポーツ施設整備方策の研究等を通じて、市民ニーズや市の財政状況を踏まえた市民スポーツ施設の適正配置のあり方を検討する。加えて、ハイキングコース、ジョギングコース、海水浴場等、自然フィールドで身体を動かせる環境の維持管理も行う。

【基本施策】

(1) 既存施設の適切な維持・運営管理

- 利用者の安全確保、快適利用のための維持管理
- 公共施設マネジメント計画に沿った長寿命化
- スポーツ施設のユニバーサル化の推進

(2) スポーツ施設以外の既存施設等の有効活用

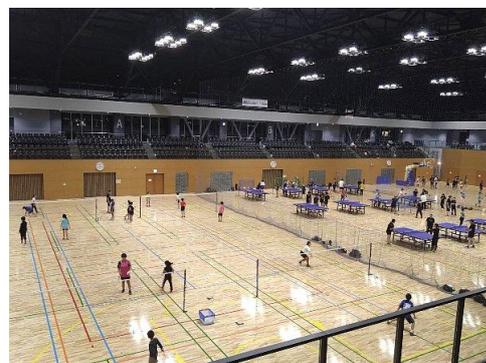
- スポーツの活動フィールドの拡充（公園・空き地・未活用海岸など）
- ハイキングコース、ジョギングコース、海水浴場等の維持管理
- 学校施設の有効活用

(3) 施設の適正配置の検討

- 屋外夜間照明のLED化及びそれに伴う適正配置の検討
- 新屋内温水プールのあり方検討



▲香陵アリーナの市民利用（卓球場）



▲香陵アリーナスポーツ教室（スポーツアリーナ）

2 基本方針【2】



With Sports スポーツでつながるコミュニティ

2.1 地域スポーツ活動の推進

従前計画では、地区センターなどを活用した地域体力づくり教室や地域のスポーツ広場の整備、地域への学校施設の開放など、地域のスポーツ環境・サービスの充実に取り組んできた。

これらの実績を、人と人、人と地域をつなぐスポーツの観点から再編成するとともに、さらなる内容の充実を図り、スポーツを通じた、多様性に理解があり、互いに支え合う地域コミュニティの形成につなげていく。

【基本施策】

(1) 身近なスポーツ環境の充実

- スポーツ広場の活用促進
- 学校開放のより効果的な推進
- 公園や遊休地、休日の幼児施設などを活用したスポーツ（体操や軽運動、運動遊び等）の普及

(2) スポーツ推進委員の活動支援

- スポーツコーディネーターとしての役割の明確化と人材発掘、育成施策の充実

(3) 市民主体のスポーツ活動の支援

- 総合型地域スポーツクラブの育成、活動の充実支援
- 市民サークルや同好会、クラブなどの活動の場の拡充
- 地域団体と連携した地域スポーツ教室のあり方の再編成



(4) パラスポーツの推進

- 特別支援学校や障がい者団体・支援施設と連携した障がい者のスポーツ機会の拡充
- 既存のイベントや市民向け事業におけるパラスポーツ体験機会の提供



2.2 地域の課題解決につながるスポーツの推進

地域にスポーツが根つき、活動が盛んになることで、人と人との交流促進、地域の一体感や活力醸成、共生社会の実現、地域経済の活性化など、様々な社会効果が期待できる。この視点から、地域や市民の様々なコミュニティ活動とスポーツを結び付けることで、スポーツを通じた地域の課題の解決に取り組む。

【基本施策】

(1) 地域コミュニティ活動におけるスポーツ活用の促進

- 地区体育協会の活動支援
- スポーツを通じた地域コミュニティの絆づくり
- スポーツを通じた独居高齢者などの社会参加支援（通いの場の活用など）

(2) スポーツを通じた子育て支援

- 子どもの遊び場確保による運動機会の提供
- 幼児期・学童期からスポーツに触れる機会の確保
- 若年層・親世代がスポーツを楽しめる環境整備（親子教室、託児付スポーツ教室の機会拡大 など）

(3) スポーツを通じたSDGs 貢献の啓発

- スポーツ活動におけるSDGs 貢献に関する取組の推進
- スポーツ大会、イベントの場を利用した、参加者へのSDGsの啓発



2.3 学校運動部活動の地域移行の推進

少子化及びそれに伴う学校の小規模化により部活動の運営が困難になる中、未来を担う子どもたちの体験、学びの場を維持・継続するため、スポーツ庁の学校部活動の地域移行・地域連携方針を踏まえ、本市の地域特性に合致した沼津型の地域クラブ活動モデルを創出する。

【基本施策】

(1) 新たな活動環境の構築

- 子どもが希望する活動や体験、学びの機会の維持・継続
- 部活動改革を契機とした子どもと地域のつながり、多世代と交わる機会の構築

(2) 各種団体・総合型地域スポーツクラブとの連携

- 地域の指導者の発掘・活躍の場創出
- 競技団体、地域コミュニティ、民間事業者などへの連携・協力の働きかけ
- 地域スポーツ推進施策との連動 など



3 基本方針【3】



With Sports スポーツでまちに活力を

3.1 スポーツ交流の推進

本市では、これまで、スポーツを活用したまちづくりを進めるため、「フェンシングのまち沼津推進事業」、「アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業」、「沼津サイクルツーリズム推進事業」の3事業を中心にスポーツ交流を推進してきた。今後も、官民連携によってこれらの事業のより一層の拡充を図るとともに、本市の強みである豊かな自然や本市のスポーツ拠点施設である香陵アリーナなどの活用によって、スポーツツーリズムなど、さらなるスポーツ交流を推進していく。

【基本施策】

(1) フェンシングのまち沼津の推進

- 裾野拡大/シンボルフェンサーの育成/大会・合宿の誘致/環境整備
- フェンシングを契機とした交流人口の拡大
- フェンシングを通じた国際交流の推進
- 活動基盤の強化（フェンシングのまち推進協議会への企業・市民の参画促進など）

(2) サイクルツーリズムの推進

- サイクルツーリズム拠点・サイクリスト受入環境の整備
- 広域連携関係の強化・推進
- 民間事業者の連携、新たな担い手の育成・発掘

(3) 地域資源を活かしたスポーツ交流の促進

- 香陵アリーナなどを活用した「みるスポーツ」の機会創出
- スポーツ合宿・大会・イベントの誘致
- 宿泊施設、商店街など地域の民間事業者・団体と連携したスポーツツーリズムの受け皿づくり（スポーツコミッション）
- 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進



▲「フェンシングのまち」拠点施設 F3 BASE



©booth oroshidanchi



3.2 プロ・トップスポーツとの連携

本市及び静岡県に拠点をもつプロ・トップチームなどとの連携を強化し、市民が「する・みる・ささえる」の多様な形態で当該チームとの接点を持つことで豊かなスポーツライフを享受できるように支援するとともに、チームとのパートナーシップによるスポーツまちづくりを推進する。

【基本施策】

(1) アスクラロ沼津との連携

- ホームタウンとしての支援（応援機運の醸成、社会連携活動「シャレン」活動支援）
- 市民に対するスポーツ参画機会の提供



©azul claro

(2) 様々な競技のチームとの連携

- 東レアローズ、ベルテックス静岡、レバンテフジ静岡、静岡ブルーレヴズ、くふうハヤテベンチャーズ静岡などとの連携によるにぎわいづくり
- 公式戦・プレシーズンマッチ等の誘致によるトップスポーツに触れる機会の充実
- 異なる競技のチーム間連携コーディネート

